

講演者プロフィール

ジェラルド G. モイ博士

世界保健機関（WHO）食品安全・人獣共通感染症及び食品由来疾患局 GEMS 食品プログラム課長

1971年、ウィスコンシン大学化学学士、1976年、オレゴン州立大学物理有機化学博士号取得。

FDA（米国食品医薬品局）を経て、1987年よりWHO西太平洋地域事務局環境計画推進応用研究センターで食品安全アドバイザーを務め、1991年からジュネーブのWHO本部に勤務。食品安全・人獣共通感染症及び食品由来疾患局において化学物質の暴露評価及びリスク特性評価の責任者として活躍しており、地球規模の食品化学物質データベースであるGEMS（地球環境モニタリングシステム）食品プログラム課長を務めている。

また、WHO/UNEP（世界保健機関/国連環境計画）母乳中の残留性化学物質に関する国際調査、アジア開発銀行と中国国家食品医薬品局との共同プロジェクトである中華人民共和国食品安全プログラム、INFOSAN Emergency（国際食品安全当局ネットワーク 緊急情報）、都市部の市場で販売されている食品の品質向上を目指すWHO Healthy Food Markets などについても積極的に取り組み、重要な役割を果たしている。

2005年ジュネーブで行なわれた食品安全国際会議では、消費者団体と協力し開催に尽力した。

「開発途上国における食品安全」等、食品安全に関する多くの論文を執筆している。

WHO（世界保健機関, World Health Organization）とは？

国連の専門機関として、1948年4月7日に設立。

「すべての人民が可能な最高の健康水準に到達すること」（世界保健憲章第1条）を目的とし、保健衛生の分野における問題に対し、広範な政策的支援や、技術協力の実施、必要な援助等を行っている。また、伝染病や風土病の撲滅、国際保健に関する条約、協定、規則の提案、勧告、研究促進等も行っており、ほかに食品、生物製剤、医薬品等に関する国際基準も策定している。

加盟国数は192ヶ国（2005年1月時点）、本部はジュネーブ（スイス）。
WHOホームページ <http://www.who.int/>